



内視鏡下鼻内副鼻腔手術

■**頸部疾患その他の手術**
逆に本格的な高齢化社会を迎え、頸部の悪性腫瘍の手術は増加傾向にあります。当科ではできるだけ機能を残した手術法を試みております。

頸部疾患その他の手術	2005年	2006年	2007年	2008年
顎下腺手術	5	5	13	7
耳下腺手術	6	6	12	9
甲状腺手術	10	6	6	9
舌癌手術	0	0	2	3
頸部郭清術	1	2	5	7
リンパ節摘出術	3	7	9	5
その他の手術	19	21	31	38

■**咽喉等疾患**
耳鼻科の手術といえば子供のアデノイドや扁桃の手術を思い浮かべると思います。しかしこれらの手術件数は年々減少傾向にあります。地域の少子化は想像以上に進んでいます。

咽喉等疾患	2005年	2006年	2007年	2008年
口蓋扁桃摘出術	37	32	31	26
アデノイド切除術	17	16	5	5
気管切開術	34	41	34	35
声帯ポリープ切除術	28	13	21	16
喉頭形成術(音声改善の手術)	10	7	9	1

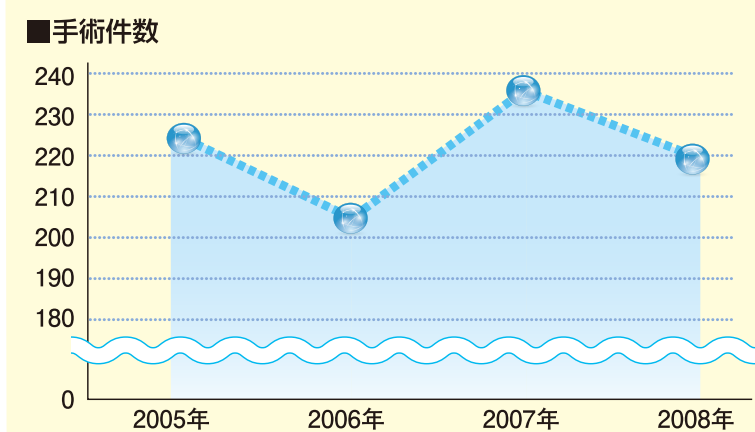
敷地内全面禁煙



当科は毎年、年間二二〇件程度の手術をしています。耳鼻咽喉科の手術は大きく分けて耳・鼻・咽喉頭・頸部の四つの分野があります。それぞれの分野の詳しい手術名と年度別推移を示しますが、たくさんの手術があり、非常



耳鼻咽喉科 医師 加藤 明夫



にバラエティに富んでいることがわかると思います。このようにさまざまな手術があることが耳鼻咽喉科の大きな特徴です。

耳疾患	2005年	2006年	2007年	2008年
鼓膜チューブ挿入術	12	8	24	23
鼓膜形成術	7	11	6	8
鼓室形成術	10	4	7	0
先天性耳ろう管摘出術	1	1	6	3

■**耳疾患**
鼓膜チューブ挿入術は滲出性中耳炎の手術です。鼓膜形成術は鼓膜の穿孔をふさぐ手術です。鼓室形成術は主に真珠腫性中耳炎の手術です。顕微鏡下に四〜五時間かかり、大変根気の要る手術です。昨年はたまたま症例がありませんでしたが非常に重要な手術です。



咽頭直達鏡下声帯ポリープ切除術

■**鼻疾患**
鼻の手術は当科では他院に先駆けて十数年前より、内視鏡下に鼻内より手術するようにとなっております。したがって手術のレベルも高く、治療成績も良好です。手術時間も短く、患者さんの負担も少なくなっております。

鼻疾患	2005年	2006年	2007年	2008年
内視鏡下鼻内副鼻腔手術	63	57	58	69
鼻中隔矯正術	13	8	10	8
下鼻甲介手術	12	14	11	13
涙のう鼻腔吻合術	2	3	1	0

耳鼻咽喉科 医師 加藤 明夫

特集 1

耳鼻咽喉科の手術実績について